

稲作生産情報第4号（要約）

平成29年6月23日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- 生育はやや遅れている！ きめ細かな水管理で茎数確保に努めよう！
- カメムシ被害を防ぐため、地域ぐるみの草刈りをしっかり行おう！

〈生育状況〉

6月上旬の低温少照の影響により生育がやや遅れており、6月20日現在の生育は、草丈・茎数・葉数とも平年を下回った。

〈水管理〉

- 1 温暖な日は3cm程度の浅水にして水温と地温の上昇を図り、気温の低い日は5～6cmのやや深水で保温し、茎数の早期確保に努める。
- 2 「日中止水、夜間かんがい（夕方又は早朝に入水）」の基本を守り、水温の上昇を図る。
- 3 中干しは、1株当たり20本程度の茎数を確保した水田では、天候の良い日に行い、生育遅れの水田や、低温が続く場合には行わない。

〈病虫害防除〉

- 1 斑点米カメムシ類の発生密度を抑制するため、7月中旬までに畦畔（けいはん）や水田周辺の雑草地などの草刈りを地域ぐるみで行う。
- 2 補植用の苗を畦畔（けいはん）や水田内に放置すると、葉いもちの発生源となるので速やかに処分する。

※ アップルネット（<http://www.applenet.jp/>）に本文を掲載しています。



報道機関用提供資料	
担当課	農産園芸課
担当者	稲作振興グループ 澤居総括主幹
電話番号	直通：017-734-9480 内線：5074
報道監	農林水産部 田中 農商工連携推進監（次長） 内線：4966